

業 種	鉄道・軌道
取組分野	自然災害対応
テ ー マ	二次元コードを活用して避難経路情報を提供する取組
取組の狙い	巨大地震の発生等により津波が襲来する可能性のある三重県、愛知県の路線について、駅（51 駅）に設置している避難場所の地図に二次元コードを付加することで、駅係員不在時であってもお客様自らが二次元コードを読み取り、スマートフォンやタブレットPCなどにより、避難場所までの地図を確認しながら避難が可能となる取組。
具体的内容	<p>◎経緯・背景</p> <p>近畿日本鉄道株式会社は、三重県、愛知県の沿岸部にある路線について、巨大地震による津波の襲来が予想されていることから、津波の発生に備えて駅では避難場所の地図を掲示するとともに、お客様への配布用に印刷した地図を配備している。しかしながら、当該エリアにおいては駅係員不在となる時間がある駅が増える中、お客様が駅員の誘導無く避難する場合や配布用の地図が不足した場合、駅に掲示している避難場所の地図を見ただけでは、避難場所までの経路を把握するのが困難であると考えられた。</p> <p>◎取組の概要</p> <p>社員の改善提案により、駅に掲示する避難場所までの地図の右下に二次元コードを付加し、お客様ご自身がスマートフォンやタブレットPCなどにより読み取って避難場所の地図を表示することで、お客様自身で避難していただく際の一助となるようにした。</p> <div data-bbox="432 1234 1382 1957" data-label="Image"> </div> <p>二次元コード付き避難場所の地図(伊勢若松駅)</p>



駅の掲示状況(伊勢若松駅)

取組の効果	<p>① 災害時にお客様が避難場所までスムーズに避難していただくことが容易となった。なお、スマートフォンやタブレットなどをお持ちでないお客様のために、従来どおり配布用の地図を配備している。</p> <p>② お客様の乗降が多い駅は、これまで配布用の地図を沢山用意する必要があったが、地図に二次元コードを付加することで、用意する地図の枚数を減らすことができた。</p>
事業者名	<p>近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部 企画統括部 安全推進部 (連絡先：06-6775-3357)</p>